

以前、Vol.76で、猿江公園にやってきたツミが繁殖をする可能性があるとして述べたのを覚えているだろうか。あれからもう3ヶ月ほど経ったわけだが、その後ツミがどうなったか気になっていた人もいるだろう（そう願いたい）。なんと、ツミは僕の願い通り繁殖をして、2羽の雛が育ったのだ！！せっかくツミが繁殖を始めたのだから絶対に最後まで見届けたい！そんな想いで、毎日と言って良いほど猿江公園に通い詰めた。3ヶ月以上にわたり観察を続けた（ツミの行動とか見つけた時間とかをその都度記録していたので結構大変だった…）ので、その記録を今回お見せしようと思う。（文・写真：佐藤暖哲）

【ツミの子育ての観察】



4月1日 ツミの巣を発見。枝の量からして、3月の中旬あたりから巣作りを始めていたと考えられる。



4月24日 メスが巣に座っていた。既に抱卵を始めているようだ（矢印にメスの尾羽が見える）。



ツミ *Accipiter gularis*

スズメを獲ってきたオス（めっちゃカッコイイ…）。ツミは子育ての際、オスは狩り、メスは雛に餌をあげる係というように、役割分担をする。獲物については、スズメばかりを食べていた。ツミは漢字で「雀鷹」と書くのだが、これもスズメをよく捕食することが由来だと言われている（諸説ある）。



ツミの幼鳥。成鳥とは異なり、胸には縦縞模様がある。お腹のハート模様がチャームポイント。



5月17日 親鳥が巣の中で獲物をちぎっていた。雛に与えていた可能性が高い。



6月8日、6月10日 2羽の雛が巣から顔を出していた。もふもふした白い綿毛で覆われている。すごい触り心地良さそう…。羽ばたいて飛ぶ練習を頻繁にしており、ついに10日には1羽が巣立ちをした。（1番右の写真で、矢印が巣立った雛、丸が巣を示している）



6月21日～7月4日 巣立った幼鳥が親鳥に餌をねだっていた。まだ独り立ちはしていないようだ。